

2020年4月1日

2020年度に入社する皆さんへ（社長講話要旨）

旭化成株式会社
代表取締役社長
小堀 秀毅

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

皆さんが、旭化成グループを選択し、一員となられたことを心から歓迎いたします。

今年には新型コロナウイルスの感染拡大を受け、皆さんの健康と安全を考慮し、例年旭化成発祥の地である、宮崎県延岡市で行っている全体入社式および新人研修は、形式を変えて実施することとしました。今までにない取り組み方となりますが、皆さんが当社の一員として確かなスタートを切れるようサポートしていく体制を整えていますので、安心して今日から第一歩を踏み出してください。

さて、入社にあたり、皆さんに3つの話をします。

1つ目は、旭化成の歴史を学び理解することです。

旭化成は、1922年に創業し、2022年に100周年を迎えます。創業以来、時代の変化や要請に柔軟に対応し、事業ポートフォリオを変革することで成長してきました。現中期経営計画では、当社の特徴である「多様性」「変革力」を活かしながら、「持続可能な社会への貢献」と「持続的な企業価値の向上」を図ることでサステナブルな企業となることを目指しています。

研修期間中、旭化成の歴史や事業について学んでいただき、当社の製品の強みと競争力とは何かをぜひ考えてみてください。今後改めて、発祥の地延岡に皆さんで集まる機会を設ける予定ですので、その際は当社のルーツを自らの目で確認してほしいと思います。

2つ目はグループ理念、グループビジョン、グループバリューを心に深く刻み込むことです。

当社ではかねてより「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します。」というグループ理念を掲げ、「健康で快適な生活」と「環境との共生」の実現を通して社会に新しい価値を提供することをビジョンと定めています。昨年ノーベル化学賞を受賞した名誉フェローの吉野彰さんが、リチウムイオン電池の開発によりモバイル社会の発展をもたらしたように、世界には新しいアイデアや技術で解決できる課題が多くあります。当社は、多角的な事業と多様な技術、多彩な人財でそれらの課題に向き合い、世の中に貢献していくことを目指しています。そのためにも、当社グループの従業員が持つべき価値観（バリュー）を尊重し、誰に対しても「誠実」に向き合い、好奇心を持って果敢に「挑戦」し、新たな価値を「創造」することを強く意識してください。

3つ目は、皆さんの将来への期待です。

近年企業を取り巻く環境は極めて速いスピードで大きく変化しています。旭化成が成長し続けるためには、AI、IoTなどを活用したデジタルトランスフォーメーションを推進・駆使し、新たな、不連続なイノベーションを起こし、従来の延長線上にはない新たな成長領域を生み出す、又、業務の生産性を革新的に高めていく必要があります。その実現を担っていく皆さんは、仕事に対して主体的、自主的に取り組み、それぞれの分野で専門性の高いプロフェッショナルを目指してください。そのために重要なのは、高い倫理観、世の中のトレンド・変化を見極める幅広い洞察力、そして強い探求心です。さらに、現場に足を運び、自分の目で現物を確かめ、現実を知るという「三現主義」も徹底して実行してください。昨今、先行きの不透明さに不安になることも多いと思いますが、このようなときこそ、情報に惑わされることなく、物事の本質をつかみ、正しく判断できる力をつけてほしいと思います。

皆さん一人ひとりの成長が、旭化成の成長につながります。旭化成という場を通じて成長し、世界を舞台に活躍し、社会に貢献できる人になってください。

これから始まる研修は自宅で取り組んでいただくコースもあります。健康管理に徹底し、集中して取り組んでください。職場の先輩達は、研修後皆さんが元気な姿で入社するのを楽しみに待っていますので、頑張ってください。

では皆さん一緒に旭化成グループが社会から信頼され、より多くの価値を提供できる素晴らしい会社となることを目指しましょう。

以上

【ご参考】2020年度入社（新卒）：大卒・高専卒計 444名